

釧路南ロータリークラブ会報

第22回 例会報告 2010.12.10 通算1376回

・点 鐘 木内会長

・ロータリーソング
「我等の生業」



ソングリーダー 工藤 ゆかり会員

・会長挨拶



会員の皆様こんにちは、最近釧路もようやく冬の到来が感じられる季節になってきました。季節の変わり目には、体調を崩す方が多いので、深酒、寝不足など、体調管理をお願い致します。また、先週の年次総会も無事に終え、次年度の小委員会の人選等がございますが、長倉会長エレクトが中心となり円滑なクラブ活動が出来ますよう、お祈りいたします。また、次年度の雲津幹事は、入会年数もまだ浅いので、今年度の菅井幹事など幹事経験者が多数いますので、早目、早目の準備を心がければ、スムーズに活動出来ると思っております。

話は変わりますが、次週12月16日(木曜日)今年度、上期の会長、幹事会が末広館にて行われますが、幹事は会社の忘年会があるので、出席できませんので、次年度の幹事雲津会員を私が連れて行くことになりました。会長、幹事会の雰囲気を感じてもらえれば良いかと思います。以上、会長挨拶とさせていただきます。

・幹事報告



- * 厚岸RCより例会記録を拝受しております。
- * 12月25日(土)のクリスマス家族例会、1月7日(金)新年交礼会(夜間例会)のご案内と出欠確認が来週13日、14日くらいにFAXされると思いますので、よろしくお願い致します。

・本日のプログラム

「歴代会長卓話」

担当 ロータリー情報メディア委員会

■1998~99年度会長 福井克美会員



私は、1998～99年度の17代目の会長です。木内会長は29代目の会長ですからパスト会長は28人になりますが、在籍者は10名しかいません。

先週の年次総会で、森江会長エレクトノミニーが発表されましたが、会員増強が毎年行われていないと、いよいよ二回目の会長が回ってきそうです。皆さん会員増強をよろしく願います。私は、1991年にロータリーに入会して、一番思い出に残っているのは、GSEとの関わりです。今日はGSEの話をしていきます。私はGSEと縁があって4回も関わっています。最初は1997年に船戸さんが分区代理の時に、私と辻村さんが分区代理事務局をしていました。

この時にGSEでアメリカとのGSEプログラムが行われました。こちらから派遣する団長に予定していた西RCの柴田さんが体調を悪くしたため、急遽当クラブの船戸さんがGSEの団長で1カ月間アメリカに行くことになりました。

船戸さんがアメリカに行っている間に、釧路ベイRCが誕生してクラブの認証式典と同時に帰国報告会を行ったことが印象的です。

二回目は、2004～05年度に私がガバナー補佐をしている時に、7分区でも10日間アメリカのサクラメントから5名を受け入れることになり、皆さんにもお世話になりました。

翌年には7分区から派遣することになり斜里1名、美幌1名、釧路から2名で決まっていたが急遽釧路の1名が都合悪くなり、帯広から1名交代して頂きました。

ガバナーが美幌RCの牧野ガバナーでしたので、受入メンバーの帰国の送別会、派遣メンバー選考委員会、壮行会、オリエンテーション、帰国報告会と美瑛に何度も足を運びました。

三回目は、2008～09年度の北見の海田ガバナーの時に船戸さんがGSE委員長になり、私もGSE委員を務めることになり、この時に受け入れと派遣の両方を体験することができました。この時は当クラブもなじみが深く、タイから5名を受け入れ、団長のトゥイさんは、当時会長だった北上さんの家にホームステイさせて頂き、又、クラブの例会にも出席してくれましたので皆さんに大変お世話になりました。翌年3月の派遣は、団長に旭川モーニングクラブの竹村さん、メンバーは釧路から2名、旭川から2名をメンバーとして派遣しました。

この時は、1年間3330地区のGSE委員長、団長、北見の海田ガバナー事務所、旅行会社、メンバーともメールで何回もやり取りして貴重な経験をしました。この時も、選考委員会やオリエンテーション、壮行会、帰国報告会を北見で行われましたので6回位北見まで足を運びました。

この経験から翌年も足立ガバナーからGSE委

員を頼まれてまして、今も3年間連続GSE委員を続けています。

四回目は、昨年インドネシアとの交流です。旭川の山本ガバナーの元で、GSE委員長も旭川の前田委員長でした。受け入れは旭川、帯広でしたので私は殆ど関わっていませんでしたが、派遣のときは募集をかけたけど男性ばかりなので女性を募集することになりました。釧路から市役所の渡辺さんを派遣することになり、私が派遣の準備を任せられました。派遣メンバーは地域が紋別、網走、旭川、釧路とバラバラでしたので準備が大変でした。

今年度はGSEの予定がないので楽をさせて頂いています。来年度は受け入れがあるかも知れませんが、またお世話になるかも知れませんのでその節には宜しくお願いします。

ここで、GSEについて簡単に説明させて頂きます。GSEとは、研究グループ交換のことで、

「Group・Study・Exchange」の頭文字をとったものです。ロータリー財団の教育プログラムの一つで、二つの国のロータリー地区が、専門職業のメンバーによる、チームを作ります。チームリーダーには、ロータリアン1名がなり、チームメンバーには、4～6名のロータリアン以外の人を選考します。メンバーの資格は、専門職務に現在常勤で雇用されており、現在までに2年以上従事していた経験があることです。年齢は25歳から40歳までの方で、性別は問いません。語学力は多少必要です。この2カ国のチームをお互いに、派遣し、受入あいます。期間は4～6週間です。

宿泊は、可能な限り地元のロータリアンの家に滞在します。旅費はロータリー財団から補助されますので、お金は小遣い程度しかかかりません、

GSEの目的は、事業及び専門職務経験の浅い若い人が、異文化に触れ、職業体験をすることと、国際化の進む職場のニーズに対応できるよう、若い人の専門的スキルや指導力を磨くことを目的としています。派遣の主な内容は、職場訪問、文化体験、親睦、ロータリアンの関与です。ロータリアンの関与とは、外国から来た若い人達に、自分の職業についての経験を、見聞してもらうことで、意義ある国際奉仕の機会を、私たちロータリアンに与えられる事になる訳です。

世界中のロータリアンが、GSEプログラムを通して、GSEチームメンバーに多くの影響を与えます。世界中に感動を与え、それぞれの人生を変えるものであります。メンバーの帰国後、地元のロータリークラブに入会したという例も多くあります。

さて、2年後の2012年度には当クラブからガバナー補佐を輩出しなければなりません。ガバナー補佐のローテーションは、釧路RCと北RCは4～5

年、西RC、東RC、南RCは7～8年というサイクルになっています。来年度は釧路RCで、再来年が当クラブです。

今年度中にガバナー補佐を決定したいと思しますので宜しくお願いします、

■2004～05 年度会長 長江 勉会員



歴代会長卓話は確か始めてでは無いかと思います。私の入会のきっかけは、丸幸 渡辺建設の社長に、あんな昼食をするんだらう、昼の時間帯にロータリーの例会があるから来て見ないかと例会に誘われたのが入会のきっかけです。

入会が平成4年11月27日で18年になります。清水会員も同時入会で、会員数も40名位おまして、例会には30名前後出席をしており、とても活気がありました、これは真面目に出席していたら大変なことに成るのではと考え、例会出席も調整をしながらの不良会員でした。

又、私の考えも甘く各委員会の委員長や幹事、会長などを自分がおおせつかるなど考えてもいませんでした。

入会から3年位は地区大会もIMも参加したことはありません。

私のロータリーに対する考え方が変わったのは、4年目に青少年委員長をおおせつかり、斜里町で開催されましたライラセミナーの参加でした、当クラブの会員の従業員2名の引率者として参加をすることになり、2500地区から大勢の青少年が一同に集い、班ごとにグループメンバーが決まっており、自己紹介から始まり、班ごとにテーマを決め夜の12時過ぎまで意見を交わし、夜の友愛の広場での交流や、カラオケボックスで青少年達と交流を深めることが出来、私にとって大変貴重な体験をさせて頂き感動を致しました。

6年目には幹事をおおせつかり、ロータリーのことも余り良く解らない私に取って、前幹事の荒谷さんから幹事の資料を引き継いだときは、ビックリしました荒谷さんにこれ全部幹事の仕事の資料ですかと尋ねたら、そうですと言うもんですから、それを見て私に出来るのかなと心配になりました。

当時の幹事の役目は会計の仕事もしなければいけなくて、今よりは数段大変で有りましたが、会員の皆さんの協力で何とか幹事を終えることが出来、大変な1年でありましたが、他のクラブの多くの会員さんとの出会いなどがあり、幹事をさせて頂いて本当に良かったと思えました。

13年目には会長をおおせつかり、工藤徳一さんから長江さんが会長をやるのなら、私で良かったら幹事を引き受けても良いと申し出て頂いて、大変嬉しく思いました。

幹事として一生懸命やって頂いて本当に助かりました。

その年度はGSEのメンバーの訪問や、韓国の青少年交流など貴重な経験をさせて頂き、感謝の気持ちで一杯でした。

最後に、色々な都合で退会される会員がおられますが、入会する時は入会式を行い会員の皆様から歓迎されて入会しますが、退会するときは退会届を提出し、会員に対しての挨拶も無いまま退会していく方が最近多いように感じます。

クラブとして退会者への送別例会など開催してはいかがでしょうか、自然消滅のような退会では今までの仲間としての付き合いが何であったのか大変寂しい気持ちでいっぱいです、自分がもし退会するようなことになった場合は最後のけじめだけは果たして退会したいと思っております。



・ 次回のプログラム

12月17日(金)

「上期の反省 下期の検討」

会場 釧路ロイヤルイン11F

担当：会長・幹事

・ 点

鐘

木内会長

今週の会報担当：長江勉会員